

今回のテーマは「だいどころたんけんたい」の中から
「切ったらどんな音がする？」をピックアップ！



すいかを切るとどんな音がするかな？

ピーマンは？
にんじんは？

パンは切ったら音がするかな？

- 切る音は「サクッ」「シャキッ」などの素材を切る音と「トントン」といった包丁とまな板のあたる音が合わさって構成されています。
- 家庭でのお手伝い時、食事の準備を見ている時など、一緒に確認すると良いでしょう。
- 同じパンでも固いパン・柔らかいパン・焼きたてのパンなど、色々な物で試してみるのも面白いです。

「台所でのお手伝い」 食の自立度を上げるきっかけづくり

幼児期後半ごろから、買い物や食事作り、後片付けをすることで食事への興味や関心が高まります。また、家族のきずなも深まる事が調査などで明らかになっています。

しかし、諸外国に比べて日本は、後片付けについてはほぼ同じ割合でしたが、食事作りへの参加は低い値を示しました。

どうしても日頃の忙しさから「後片付けが大変」と理由をつけたり、「まだ無理」と線をひくといったように、子どもからお手伝いをする機会を奪ってしまう傾向があると思われます。お手伝いは子どもが努力して作り出せるものではなく、大人がその機会を作って「やらせてみる」「やってみる」ことから始めるものです。

初めは何でも構いません。

今回の「切ったらどんな音がする？」もそのきっかけの一つになればと思います。

はじめは隣で見ているだけで良いのです。

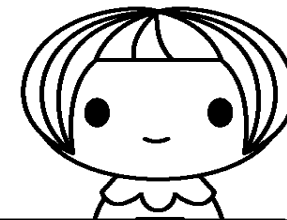
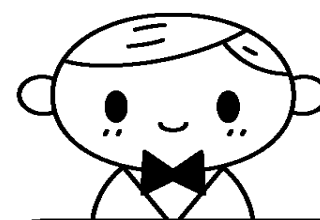
子どもの学びは模倣から始まります。大人がやるようにしたい、一緒にやりたいという気持ちを受け止めて、次のステップと一緒にトライしてみると良いでしょう。

それが徐々に「お手伝い」に発展していくのです。

難しく考えず、まずはどんな音がするか一緒に確認してみたいはかがでしょうか？

おとなの ぼんぽんニュース

2024.8



擬音や擬態語で 食べ物をイメージする

子供は擬音が大好きです。食べる時や料理をするときには色々な音がします。台所には色々な調理器具があり、それらを使うと色々な音がします。「だいどころたんけんたい」では、調理中の音の観察をすることで食に対する興味の扉を開くきっかけ作りをねらっています。

食のことわざ

「イカの甲より歳の劫」

イカの甲は、背腹の区別くらいにしか役に立たないが、歳の劫は人生のは人生の経験を積み重ねているだけに尊い価値があるというたとえです。だから、年寄りの言う事を軽んじてはいけません。「亀の甲より歳の劫」と同じ意味のことわざです。尚、劫とは非常に長い時間を意味する語で、この場合、劫でなければ意味を成しません。よく見かける「歳の功」は誤りです。

ところでイカの甲は本当に役に立たないのでしょうか？そんなことはありません。コレステロールの低下作用があったりします。ですから、決して無用というわけではないですよ。



名阪食品株式会社

<http://www.meihan-shokuhin.co.jp/>

〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1-25-1

Tel 048-650-6682 Fax 048-650-6683